



2年生 “認知症サポーター養成講座”



2月2日(月) 2年生
のコース生徒を対象に
「認知症サポーター養成講座」が行われまし
た。

能代市キャラバンメイトの開田さんから、とてもわかりや
すく丁寧に講義をしていただき
ました。おかげで、認知症へ
の正しい理解、対応を具体的
に学ぶことができました。
ありがとうございました!!



たくさん メモしました!

認知症の人への対応の心得 3つの「ない」		
1. 驚かせない	2. 急がせない	3. 自尊心を傷つけない
具体的な対応の7つのポイント		
① まずは見守る	⑤ やさしい口調で	
② 余裕をもって対応する	⑥ おだやかに、はっきりした話し方で	
③ 声をかけるときは1人で	⑦ 相手の言葉に耳を傾けて、	
④ 後ろから声をかけない	ゆっくり対応する	

レポートの工夫
GOOD!

イラストが苦手でも
透明付箋を活用!

加齢による「物忘れ」とは異なる!

加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
・何を食べたか思い出せない	・食べたことを忘れる
・人の名前が出てこない	・誰なのか分からない
・忘れたことを自覚している	・忘れたことを自覚していない
・日付や曜日を間違える	・月や季節を間違える
・? ことがある	・? ことがある

認知症の種類と内容

1. アルツハイマー型認知症
→ 話せる言葉や自分で
できることが少なくなる
(全体の1/2型)

2. レビ小体型認知症
→ 幻視、日・時により症状
が目まぐるしく変動
(全体の1/2型)

3. 脳血管性認知症
→ 記憶力、計算力、うつ状態、
感情が変化しやすい
(全体の1/2型)

4. 前頭側頭型認知症
→ 人格・性格の变化、感情の
コントロールができない、反社会的行動

生徒 リポート コーナー

“講座の感想” 紹介します!!

リポーター 2年 豊田 陽向 さん

認知症のことは、ドラマなどでよく出てきていて見ていた
ので、結構知っている方だと思っていました。でも、今回講
座を受けてみて、認知症の初期段階で自分のことを考えら
れるうちに、終末期医療や介護方針について、代理判断を
してくれる人を決めて家族に伝え、“事前指示書”に記入
することで、自分の生き方で最期まで生きられるというこ
とを初めて知りました。

ドラマとかだと「家族を忘れてしまった」というようなこ
とが多く、それを見て偏見を持ってしまい、辛い病気だと思
っていたけど、辛いことばかりではないと思いました。

また、認知症の方同士の交流や、認知症になっても周
りの人たちからの理解を得て、全国各地で頑張っている
人たちがいて、とてもすごいと思いました!

今はまだ、自分の周りに認知症の人はいないけど、なっ
てしまったり、道などで遭遇したら、認知症サポーターとし
て、ゆっくり話しかけ、ビックリしないようサポートできたら
いいなと思いました。